

## 2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年1月8日

東

上場会社名 株式会社エービーシー・マート 上場取引所  
コード番号 2670 URL https://www.abc-mart.co.jp/ir/  
代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 野口 実  
問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画室長(氏名) 石井 寧大 (TEL) 0334765452  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年2月期第3四半期の連結業績(2024年3月1日~2024年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年2月期第3四半期	277,078	9.8	48,001	15.6	49,628	14.7	34,154	14.6
2024年2月期第3四半期	252,328	21.0	41,533	43.3	43,275	45.7	29,807	44.0

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 33,015百万円(△5.6%) 2024年2月期第3四半期 34,969百万円(15.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	137.93	—
2024年2月期第3四半期	120.38	—

(注) 当社は、2023年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年2月期第3四半期	416,775	357,391	85.2
2024年2月期	387,336	341,654	87.6

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 355,123百万円 2024年2月期 339,444百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	85.00	—	37.00	122.00
2025年2月期	—	33.00	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—	37.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、2023年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しました。2024年2月期第2四半期末につきましては、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。当該株式分割の影響を考慮した場合の2024年2月期の年間配当金は、65円33銭となります。

## 3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	371,500	7.9	61,800	11.0	63,300	9.5	43,200	8.0	174.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 4社(社名)、除外 社(社名)

(注) 詳細につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年2月期3Q	247,618,938株	2024年2月期	247,618,938株
2025年2月期3Q	2,197株	2024年2月期	2,187株
2025年2月期3Q	247,616,746株	2024年2月期3Q	247,616,890株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年3月1日から2024年11月30日まで)における事業環境は、企業収益の増加に伴い社会経済活動が活発となり、また外国人旅行客の増加もあり、消費は緩やかに増加しました。一方で、エネルギー資源の高騰や円安による物価の上昇が続いており、一部で個人消費の鈍化がみられるようになりました。

シューズ業界におきましては、商品価格の上昇により、お客様の選別はより厳しいものとなっておりますが、実需に強い商品やトレンド商品など付加価値の高い商品は需要が増加傾向にあります。商品トレンドは、新作スニーカーを中心としたスポーツ系カジュアルに加え、手を使わなくても履けるハンズフリーシューズの需要が急速に拡大しました。

このような状況下、当社グループは、グランドステージと複合業態店舗の拡大、デジタルインフラの活用、スポーツシューズとスポーツアパレルを含めたライフスタイルカジュアルの拡充に対応してまいりました。店舗展開につきましては、当四半期は国内外合わせて22店舗、累計期間で56店舗の新規出店を行いました。当四半期末における当社グループの店舗数は1,510店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は前年同期比9.8%増の2,770億78百万円となりました。利益面につきましては、セールアイテムの絞込とデジタルを活用した効率的なオペレーションにより、営業費用を抑える取り組みを実施してまいりました。この結果、営業利益率は前年同期比0.8ポイント増の17.3%となりました。営業利益は前年同期比15.6%増の480億1百万円、経常利益は前年同期比14.7%増の496億28百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比14.6%増の341億54百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### イ. 国内

販売戦略につきましては、この春に本格参入したハンズフリー市場において、商品の品揃えと取り扱い店舗の拡大により、新規顧客の獲得と売上の拡大に注力してまいりました。また、物価対策として、「GRANDSTAGE」において初の限定セールを実施するなど、購買機会を増やす取り組みを実施してまいりました。商品展開につきましては、ハンズフリーシューズやトレンドのスニーカー、寒暖差に対応したウェアなどの販売に注力いたしました。

店舗展開につきましては、当四半期に13店舗、累計期間で36店舗の新規出店を行いました。業態変更を目的としたスクラップアンドビルドと好立地への移転により、累計で22店舗の閉店を行いました。これらの結果、当四半期末時点の国内店舗数は1,109店舗となりました。当四半期においても、大型商業施設における多業態での展開を進めてまいりました。異なる商品構成、コンセプト、ターゲット層を持つ業態を一堂に集め、あらゆる顧客層のニーズを取り込むことのできる複合業態店舗として、この秋、ららぽーと横浜にトレンド型旗艦店

「GRANDSTAGE」、ヤングファミリー向けシューズショップ「ABC-MART」、スポーツとアウトドアのセレクトショップ「OSHMANS」、ハイエンドスニーカーのセレクトショップ「BILLY'S」を出店いたしました。既存店につきましては、増床を中心に50店舗の改装を実施いたしました。当四半期末時点で「GRANDSTAGE」は108店舗、複合業態店舗は123店舗になりました。

当四半期の国内店舗につきましては、ハンズフリーシューズを中心にプロパー販売が好調だったことから、客単価が7%以上上昇し、国内店舗(「OSHMANS」除く。)の売上高増収率は、既存店が前年同期比9.2%増、全店が前年同期比9.4%増となりました。当四半期の免税売上比率は、第2四半期に続き1割程度で推移しました。これらの結果、当四半期累計期間の売上高につきましては、全店・既存店ともに前年同期比9.7%増となりました。

これらの結果、国内における売上高は前年同期比9.8%増の1,925億48百万円、セグメント利益は前年同期比17.7%増の407億37百万円となりました。

## ロ. 海外

海外の店舗展開につきましては、当四半期までに、韓国17店舗、台湾3店舗、計20店舗の新規出店を行いました。当四半期末(2024年9月30日現在)の海外店舗数は、韓国325店舗、台湾64店舗、米国7店舗、ベトナム5店舗、計401店舗となりました。(閉店 韓国8・台湾2・米国1)

海外の業績につきましては、円安の影響を受け増収増益となりました。なお、海外連結子会社はいずれも12月決算であり、収益及び費用は期中平均為替相場により円貨に換算しております。円ベースでは、韓国の売上高は前年同期比13.1%増の545億58百万円、台湾の売上高は前年同期比1.8%増の89億85百万円、米国の売上高は前年同期比9.0%増の225億68百万円となりました。いずれの国においても、インフレ対策でセールを実施し、売上の拡大と在庫の消化に努めました。ベトナムにつきましては、連結業績へ与える影響は軽微であります。

これらの結果、海外における売上高は前年同期比11.1%増の865億25百万円、セグメント利益は前年同期比6.4%増の73億23百万円となりました。

## 品目別販売実績

品目別	前第3四半期連結累計期間 (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (百万円)	前年同期比(%)
スポーツ	140,668	155,113	10.3
レザーカジュアル	34,922	37,136	6.3
キッズ	19,560	21,031	7.5
サンダル	17,042	19,536	14.6
レディース	13,619	13,155	△3.4
ビジネス	6,951	7,028	1.1
ウェアその他	14,191	17,426	22.8
その他	5,372	6,650	23.8
売上高合計	252,328	277,078	9.8

(注) 上記金額は、国内及び海外の合計で表示しております。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

## 資産、負債及び純資産の状況

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ246億91百万円増加し、3,133億19百万円となりました。主な要因は、店舗売上の増加による現金及び預金の増加67億78百万円及び受取手形及び売掛金の増加54億58百万円、及び棚卸資産の増加123億90百万円等によるものであります。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ47億47百万円増加し、1,034億55百万円となりました。主な要因は、韓国の店舗用不動産を取得したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ137億1百万円増加し、593億83百万円となりました。主な要因は、当四半期末日が金融機関の休日だったことから期末日満期手形の増加による支払手形及び買掛金の増加165億26百万円、並びに未払法人税等の支払による減少45億65百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ157億36百万円増加し、3,573億91百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加168億21百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね予定どおりに推移しており、2024年10月9日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	167,208	173,986
受取手形及び売掛金	16,262	21,721
有価証券	9,150	9,347
棚卸資産	88,942	101,333
その他	7,303	7,166
貸倒引当金	△240	△235
流動資産合計	288,627	313,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,543	43,998
減価償却累計額	△21,859	△23,706
建物及び構築物(純額)	17,684	20,292
工具、器具及び備品	21,673	25,007
減価償却累計額	△17,277	△20,124
工具、器具及び備品(純額)	4,396	4,883
土地	19,568	22,171
建設仮勘定	351	550
その他	428	438
減価償却累計額	△384	△397
その他(純額)	44	40
有形固定資産合計	42,045	47,938
無形固定資産		
商標権	95	50
ソフトウェア	3,506	3,177
のれん	207	142
その他	807	748
無形固定資産合計	4,616	4,118
投資その他の資産		
投資有価証券	20,026	19,410
関係会社株式	600	600
長期貸付金	167	122
敷金及び保証金	28,041	27,671
退職給付に係る資産	255	—
繰延税金資産	2,390	3,017
その他	598	594
貸倒引当金	△33	△18
投資その他の資産合計	52,046	51,398
固定資産合計	98,708	103,455
資産合計	387,336	416,775

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,238	31,765
短期借入金	1,405	3,567
未払法人税等	11,268	6,703
契約負債	1,074	841
賞与引当金	1,163	2,081
引当金	299	235
資産除去債務	318	179
設備関係支払手形	1,189	543
その他	12,013	11,751
流動負債合計	43,972	57,671
固定負債		
退職給付に係る負債	54	59
資産除去債務	473	642
その他	1,181	1,011
固定負債合計	1,709	1,712
負債合計	45,681	59,383
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,972	19,972
資本剰余金	24,043	24,114
利益剰余金	269,829	286,650
自己株式	△4	△4
株主資本合計	313,841	330,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,172	6,741
為替換算調整勘定	18,430	17,649
その他の包括利益累計額合計	25,603	24,390
非支配株主持分	2,209	2,267
純資産合計	341,654	357,391
負債純資産合計	387,336	416,775

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上高	252,328	277,078
売上原価	121,691	135,345
売上総利益	130,637	141,732
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	3,176	3,231
広告宣伝費	5,303	5,362
保管費	2,497	2,161
役員報酬及び給料手当	24,020	25,279
賞与	436	524
賞与引当金繰入額	1,977	2,084
退職給付費用	520	539
法定福利及び厚生費	3,825	4,054
地代家賃	24,903	26,568
減価償却費	4,079	4,253
水道光熱費	2,183	2,165
支払手数料	7,249	8,058
租税公課	1,534	1,720
のれん償却額	97	65
その他	7,298	7,660
販売費及び一般管理費合計	89,103	93,731
営業利益	41,533	48,001
営業外収益		
受取利息	428	818
受取配当金	499	322
為替差益	356	—
賃貸収入	573	706
広告媒体収入	25	25
その他	234	341
営業外収益合計	2,118	2,214
営業外費用		
支払利息	8	11
為替差損	—	124
賃貸費用	326	430
その他	41	20
営業外費用合計	376	587
経常利益	43,275	49,628



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	24	1
有価証券売却益	437	44
特別利益合計	462	46
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	251	253
減損損失	248	174
その他	0	7
特別損失合計	499	435
税金等調整前四半期純利益	43,238	49,238
法人税、住民税及び事業税	13,435	15,397
法人税等調整額	△142	△444
法人税等合計	13,292	14,953
四半期純利益	29,945	34,285
非支配株主に帰属する四半期純利益	137	131
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,807	34,154

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	29,945	34,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△307	△431
為替換算調整勘定	5,331	△837
その他の包括利益合計	5,024	△1,269
四半期包括利益	34,969	33,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,691	32,940
非支配株主に係る四半期包括利益	278	74

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の変更)

当四半期連結累計期間において、海外セグメントにおけるグループ内の組織再編の一環で、在外連結子会社（出資比率100%）を1社設立し、また前連結会計年度まで在外非連結子会社であった3社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	4,423百万円	4,645百万円
のれんの償却費	97	65

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	174,573	77,755	252,328	—	252,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	761	133	895	△895	—
計	175,335	77,888	253,223	△895	252,328
セグメント利益	34,625	6,880	41,505	28	41,533

(注) 1 セグメント利益の調整額28百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	191,697	85,380	277,078	—	277,078
セグメント間の内部 売上高又は振替高	851	1,144	1,996	△1,996	—
計	192,548	86,525	279,074	△1,996	277,078
セグメント利益	40,737	7,323	48,061	△60	48,001

(注) 1 セグメント利益の調整額△60百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。